

## クオリティインディケーター（QI）成果報告

### 【循環器内科】

#### 指標名

zero コントラストPCI

#### 目標：ゴール

＜造影剤による腎障害の撲滅＞

動脈硬化性疾患で、特に血管治療を行う際は、造影剤で病変を確認することが不可欠である。しかし、造影剤には、腎機能障害をきたすリスクやアレルギーを起こすリスクがあり、特に腎機能の低下した患者さんの治療においては、予後を左右する重大な問題となることがある。

#### 目標：ゴール達成による効果

当院では、慢性腎臓病（eGFR<60）の患者さんの治療時に、造影剤を使用せずに血管治療を行う適応と判断した場合、造影剤を使用せずに血管治療を行っている。当然、造影剤による腎機能悪化やアレルギーは生じないし、予定通りの治療を完遂できている。

#### 目標：ゴールに対する成果の状況

慢性腎臓病で血管疾患を合併する患者は多い。適応のある患者には、造影剤の影響を避け、治療できている。患者さんの満足度も高くなっている。

#### 目標：ゴール達成度

- S : 大幅な目標を上回った
- A<sup>+</sup> : 目標を多少上回って達成
- A : 目標を達成
- B<sup>+</sup> : 目標を少し下回った
- B : 目標を下回った
- C : 目標を大幅に下回った
- : 外的要因より継続困難となった

#### 目標：ゴールの課題・改善策

より多くの治療において、不必要な造影剤は使用しないで治療を行う必要があり、また行うことが可能であるという医師の意識改革を広めることが、今後の課題と思われる。